

藤田孝典氏講演会 アンケート集計結果

アンケート回収率 75 / 116人・・・64.7%

1. 今回の講演会の内容は理解できましたか。

- ① 大変よく理解できた・・・51人
- ② まあまあ理解できた・・・22人
- ③ 難しかった・・・・・・・・・・1人
- 未回答・・・・・・・・・・1人

2. 困窮問題について我が事のように感じましたか。

- ① よく感じた・・・・・・・・・・64人
- ② 少し感じた・・・・・・・・・・10人
- ③ まったく感じなかった・・・0人
- 未回答・・・・・・・・・・1人

3. 南魚沼市社会福祉協議会の支援体制について理解できましたか。

- ① 大変よく理解できた・・・40人
- ② まあまあ理解できた・・・26人
- ③ 理解できなかった・・・・・・・・0人
- 未回答・・・・・・・・・・9人

4. その他・ご意見

<1. ①大変よく理解できた 2. ①よく感じた方のご意見>

- ・今後の生活が見えてくるようで、未来を語るとまで行かない心境です。やはり自分も参画して、良い流れの一員となれるよう取り組めればと感じています。
- ・最近のデータで説明も大変わかりやすかったです。子どもの貧困についての話も聞きたいので、別の機会に講演会が開かれることを期待します。よい会の開催、ありがとうございました。
- ・国の制度の不備を感じる（健康で文化的な生活を憲法で保障しているのに…）非正規雇用を増やしたことが間違いだったと思う。（税収の減少、年金の減額）等若い人も高齢者も大切にされる国であってほしい。電気料・水道料（南魚沼市は高すぎる）ガス代・灯油代・ガソリン代も安くしてほしい。
- ・自分の将来が心配になりました。意識を変えないと、解決につながらないと思いました。

- ・大変良い勉強になりました。ありがとうございました。
- ・講演がとてもわかりやすく、危機感を感じています。ゆるやかなつながりのある地域づくりのために、1人1人が意識していかなければならないと思いました。すばらしい企画だったと思います。ありがとうございました。
- ・大変勉強になりました。こども食堂や台湾の屋台の話はありましたが、他にも地域で支え合っている事例をお聞きしたかったです。ありがとうございました。
- ・「下流老人」拝読し、現在の日本の現状・実態を思い知らされました。本日の講演会でも生でお話を聞くことができ、とても有意義でした。意見ではなく感想になってしまいましたが「地域の繋がり、ネットワーク作り」について考えていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・生活困窮問題という言葉聞く機会があったが、この講演で現在の状況がよくわかった。様々な要因で生活困窮になってしまうことを知り、決して他人事ではないことを思い知った。福祉関係の職場に在籍しているため、生活困窮者に対する支援として自分の立場で何ができるかを意識して業務にあたろうと感じた。
- ・孤立する老人の多くは地域等との関係を持たずに自由・勝手に生きてきた人が多いように思う。手を差し伸べても拒否されることが多い。超貧困でも自由を選ぶ人をどうしたらいいのか。重篤になってから高額医療費をかけて救わなければならない。
- ・保健師や社協、Dr. など連携して早めに貧困について困っている人を見つけることが大切だと感じました。日ごろの活動に活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・わかりやすいお話でした。高齢者の方が若い方の問題をどうとらえて、世代間でどう考えるかなども考えました。世代間の関係性の回復をどうすすめるか、具体的なお話を聞かせていただけて参考になりました。
- ・社協の活発な活動が良くわかりました。早めの相談に至らない現実、その理由をわかりやすく説明していただきました。そこに若者の問題（やっぱり仕事）が深く関わっていること。将来どうなるか（少子化による支援の力の弱退化かな）などもつないでもらい、再認識できました。やはり一番心配しているところです。人ごとではありません。行政の立場としてどう政策をすすめるかなど、本当に微力ながら考えていきたいと思います。ありがとうございました。

- ・演者は厳しい現場実践を体系化し理論としているのがすばらしかった。日々忙しく実践しつつ体系化・理論構築できない人が多い。
これからのセミナーとして「子育て世代の貧困」「障がい者の貧困」「貧困の地域格差」「住民としての活動」を取り上げてほしい。
- ・貴重な機会を設けていただきありがとうございました。藤田さんの経験と実践に基づくお話を聞くことが出来て、良かったです。スタッフの皆様、お疲れ様でした。
- ・日本でもお寺に行けばみそ汁とおにぎりが食べられるとか、一泊とめてくれるとかシェルターのような役割になると“ありがたい”のにな～。
生活保護もバランスの良いお弁当が支給される等、選べる支給メニューやパッケージなどのバラエティがあるといいかも。ふるさと納税だっていろいろなメニューがありますのでね。楽しく考えてみたい気持ちになりました。
- ・参加出来良かった。ホッとした気分です。人とのつながりが大切で、はずかしがらないで困ったら相談に行きたいと思います。
- ・「元気な時は自分ができる手助けをし、自分が困ったら今度は自分が助けてもらう番と割り切って、恥だと思わず助けを求めよう。お互いの助け合いの力」という言葉に安心感と勇気をいただきました。
- ・魚沼の雪、一人暮らしの高齢者にのしかかる重さを感じました。地域の課題、そこをプラスにかえる取り組みを考えていきたいと思いました。
- ・何となく不景気と言う状況はわかっていたのですが、下流高齢者の実態をより詳細に理解することができました。
- ・困窮が個人の問題でなく、社会保障の課題という考え方は心強いと思った。台湾の屋台文化は素晴らしいと思いました。相談窓口が機能していない、地域の茶の間や居場所に本当に支援が必要な人は参加していない、援助を目的として始めるのではなく、文化として自然にできることを考えたいと思いました。まずは身近なところから、家族や友人と食事をする機会を増やそうと思います。
- ・人間関係の地域のつながり・互助の精神が大切で「地域づくり」を住民みんなで支え合い考えていくのが重要だと思いました。
- ・この講演が1つの契機として、地域住民の支援の連携が広がり深まることを願っています。

- ・現在の状況をわかりやすくお話しいただき、勉強になりました。
- ・本日は有意義なご講演をいただきありがとうございました。生活保護を受けることははずかしいことでないことを広く社会に広めたいと思います。
- ・とても良いお話をうかがった。ありがとうございました。一帯がもう少し広報活動をやってもらい、住民が安心して暮らせる状況を作っていただきたいということをお願いしたいと思います。
- ・自己責任、自衛方法の限界を知りました。公的扶助、医療・福祉の現状について関心が高まった。個人と社会の繋がり、公と私の関係について考えさせられた。知識と情報の重要性がわかりました。感謝！
「受援力」子どもがいじめの相談をすることも壁があるようです。何とか現場（中学校）で解決に向けて努めます。
- ・制度があっても活用できなければ意味がないのだと思いました。制度の普及をつづけていこうと思います。
- ・“子どもの貧困”について講演を望む。
- ・質疑応答の取り方、プログラムの組み立て方が良かったと思います。藤田氏の若い視点からの講演だったので理解しやすかった。
- ・こういう講演会を企画実施できて、南魚沼市社会福祉協議会には力があるんだなど感銘を受けました。ありがとうございました。
- ・著書の販売があったら良いと思いました。
- ・3 の問い（南魚沼市社会福祉協議会の支援体制について理解できましたか）は普段からの活動を知らないので答えに困ります。

<1. ②まあまあ理解できた 2. ①よく感じた方のご意見>

- ・本日の講演会のテーマ「広がる生活困窮問題ー貧困を乗り越えて未来を語るー」の資料の中の個人でできる下流化の防止策としての“「受援力」を身に付けておく”（ことが大切）につきましては、地域の支え合いの活動の一環として、それぞれの方が自分の出来る範囲内でボランティア精神を発揮して頂き、切実に日常生活の自立にサポートを必要とされている方に対し、自発的なさりげない支援の手を差し

伸べていただいて、その輪を広げていく事がとても大切なことと個人的に感じており、その実践に今後も微力ながら努力させていただきたいと思っております。

- ・本日の講演は決して暗い側面だけでなく、むしろ現社会の事実の一面を披歴されたものであると思います。この事実を共有し合い共通理解を図りながら、行動の連携をとっていききたいものです。ありがとうございました。
- ・高齢者の働きについて無理して働かず生活保護に結びつける旨の発言がありましたが、働く事は経済的だけのことでないから働けるだけ働く事は大切かと思います。
- ・藤田先生の言わんとするところは理解できたし、提案している事もわかりましたが、この地域での取り入れには難しいのかな。しかし取り組みは必要！！
- ・契約社員や非正規雇用を抜本的に解決しないと、将来的には生活保護受給者は増加するのは当たり前。正社員化や最低賃金の改善が最も大切との発言が弱いように思う。諸外国はもっとやっている。例を出してほしかった。
- ・自分とは思っていたが、講演を聞かせていただき人ごとではなく明日は我が身と感じ、これからでも遅くないと思うので、生活を見直していきたいと思っています。

<1. ②まあまあ理解できた 2. ②少し感じた方のご意見>

- ・暗い内容で心配になりました。どうなるんだろうと思ってしまいました。そんなことばかり考えてはいけないとの思いもわきました。近所の人達との助け合い・ネットワーク作りの大切さを思いました。できることから少しずつの気持ちです。
- ・現実的な講演会でした。こんな世の中が近づいていることを理解しなければならぬ。
- ・今の 20 才・30 才の方にも生活困窮について考えてほしいと思います。私たち 40 才は何がこれからできるのか、考えていかなければいけないと思いました。
- ・40～50 年前と現在の高齢者では状況が全く変化している。貯蓄したいと思っても余裕がない。(下流老人という言葉は響きが悪い) 生活困窮になる前にこうすれば良いと言われていますが、よほど強い意識を持って行っていかなければ(内容にも依るが生活補完になる)悪化は改善できない(個人的な意見です)。知っている範囲の人達では、ほとんどの高齢者が一家を支えているケースが多い。

・講演時間が長すぎた。焦点がぼやけてくると感じました。

<1. ③難しかった 2. ②少し感じた方のご意見>

・話が重たかった。笑いが出るような工夫がほしい。

<アンケート未回答の方のご意見>

・社協へ。支援を利用されている人が今日どの位参加していますか。本人・家族の参加も時として必要なのではないのでしょうか。

この講演を聞きっ放しではなく、これを一つの機会に地域一般住民が参加する継続会合へつなげる必要があるのではないのでしょうか。役職・専門職ではない、一般・隣人が日常の中で何気ない相談を受けている場合も多いです。それをどう結びつけてゆくのかではないのでしょうか。

以上、46名の方からその他・ご意見をいただきました。

アンケートにおいて、社協に対してのご質問もお寄せいただきましたのでお答え致します。

「支援を利用されている人が今日どの位参加していますか。本人・家族の参加も時として必要なのではないのでしょうか。」

本講演会の周知は相談者の方々に向けて特には行っておりません。ご指摘の通り本講演会には困窮されているご本人・ご家族の方々にも届いて欲しいメッセージが多くございましたが、現に困窮状態に悩む方にとっては聞いていて苦しくなる内容も多く含まれていると思われたからです。今後の機会にご本人・ご家族に向けてテーマを絞った催し等も検討して参ります。

さらに社協に対してのご意見もいただきました。

「この講演を聞きっ放しではなく、これを一つの機会に地域一般住民が参加する継続会合へつなげる必要があるのではないのでしょうか。役職・専門職ではない、一般・隣人が日常の中で何気ない相談を受けている場合も多いです。それをどう結びつけてゆくのかではないのでしょうか。」

社協の催しを継続会合につなげていく方策、地域から困りごとを吸い上げる方法を検討していきたいと思えます。貴重なご意見をありがとうございました。

講演会の最後には、どんなお困りごとであっても受け付けられる相談窓口として、社協の「くらしのサポートセンターみなみ（電話：025-773-6919）」のご紹介を行い

ました。まずお話を伺った後に、社協で継続的に支援させてもらえるか、適切な機関におつなぎするかを判断いたします。

いろいろなお困りごとが重なり絡み合う状態になってしまうと、どこに行ってもいいかわからず身動きが取れない状態になってしまいかねません。「こんなことで相談に行ってもいいのかしら」などのご心配はなさらずにご連絡いただければと思います。